

今日のわだい

- [1面] 医療研究集会in群馬
- [2面] 解散・総選挙の争点は何? 安倍政権そのもの!!
- [3面] 14秋・厚生労働省交渉

全厚労ニュース

全国労働組合連合会
 厚生連
 〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5
 TEL 03-3874-3591
 FAX 03-3874-3593
 発行日 毎月20日 定価 30円
 http://www.zenkouro.org/

誰のために、何をするのか?をテーマに

第31回医療研究集会在群馬

11月21〜23日、全厚労は第31回医療研究集会在群馬県磯部温泉で開催、全国11県から105名が参加しました。今回の集会テーマは、「誰のために、何をするのか?」。参加者一人ひとりが自ら考え、声に出し、学びあえる集会になりました。

医療・福祉のプロジェクト 社会の一員として

茂原宗一医療研事務局長(全厚労中央執行委員長)が基調報告を行いました。集会のテーマが、「昨年の「力を合わせるために」から、昨年の「社会の一員である私、現場から出来ること」へ、そして今年は、「誰のために、何をするのか?」と変化発展してきたこと。東日本大震災以後、多くの人が自ら考え、行動してい

日本初の「住民立の診療所」に学ぶ

初日は今回の開催地である群馬県にある大戸診療所のみなさんに参加していた「大戸診療所の20周年に学ぶ」と題したシンポジウムを行いました。大戸診療所は、今年10月に設立20周年を迎え、この2月には46社の地方新聞による「第4回地域再生大賞・準大賞」を受賞しています。

4つの分科で学ぶ 考える

2日目からは、4つの分科会に分かれて交流を深めました。第1分科会「住民と一緒に運動する」では、各地の医療を守る住民運動と医療従事者のつながりを学びながら、今回は特に「地域の交通手段」について取りあげました。



医療研でも労働組合らしく、団結ガンパロー、で

参加者の感想よ

基調報告

サブテーマ「誰のために、何をするのか?」、みんなで見聞きして、仲間がくれた「大切な時間」を大事に使う。簡単でもあり、難しいことである、良かったです。

シンポジウム

地域住民のニーズに沿う医療ができ、それを何十年と続けられている大戸診療所はすごいとしか言いようがなかった。医療のあり方(過疎や高齢化の進む地域)を考えることが出来た。

分科会

地域の交通手段という今まで問題視していなかった患者さんの交通手段を改めて考えていく必要があることを実感させてもらった。「医療は住民のもの」基本理念をもう一度考えてみます。取り組んでみます。

全体を通して

こんなに楽しいものとは思いませんでした。また来たいです。(三重)

他県(他病院)から見る

「良い取り組み」に見えるけれども、自分たちではそれほど意識していないことが多々あると思った。活動を見直して医療研でレポートして再評価できるようにすると、もっと活動が楽しく、そして広がると思った。(茨城)

業務の中で、ゆっくり話をすることは難しいけれど、後輩に声をかけていきたいです。(広島)

各県の現状を聞き、同じ状況であることを知り、現状にため息をもらすのではなく発想の転換、前向きな考え方に切り替えて、良い環境づくりをしていきたいと感じました。誰のために? 私達の患者さんの為に。を原点忘れることなく余裕な接し方をしていきたいと思えます。(秋田)

他の地域で行っている活動を知ることができて勉強になりました。どんなアプローチが有効かはその地域の特徴で違うかもしれませんが、考える良い機会になったと思います。継続していくことの大切さも学びました。とても良いテーマだったと思います。(茨城)

こんなにも楽しいものとは思いませんでした。また来たいです。(三重)

他県(他病院)から見る「良い取り組み」に見えるけれども、自分たちではそれほど意識していないことが多々あると思った。活動を見直して医療研でレポートして再評価できるようにすると、もっと活動が楽しく、そして広がると思った。(茨城)

泊まりでの集会は初めてで、どんな固い集会か不安がありました。皆を飽きさせないようにする企画などして頂いて、楽しく職場に戻ってからは仕事頑張る!と思わせて頂ける集会でした。(埼玉)

大戸診療所は、今年10月に設立20周年を迎え、この2月には46社の地方新聞による「第4回地域再生大賞・準大賞」を受賞しています。

初日は今回の開催地である群馬県にある大戸診療所のみなさんに参加していた「大戸診療所の20周年に学ぶ」と題したシンポジウムを行いました。

2日目からは、4つの分科会に分かれて交流を深めました。

各地の医療を守る住民運動と医療従事者のつながりを学びながら、今回は特に「地域の交通手段」について取りあげました。

最終日は各分科会のまとめを行い、全体集会で各分科会の内容が報告されました。

仲間の大切さを感じた、医療研の人生大半で

第3「病院を地域にひらく」では、病院から地域に足を運んだり、病院へ地域を招く取り組みとしての病院祭やイベントの経験を交流。レポート報告では今年25回目となる鈴木厚生病院の病院祭が紹介されました。

第4「いのちを育む食と環境」では、いま話題となっている「里山資本主義」のスペシャル番組を視聴(NHKホームページで公開されています)し、地産地消の役割や地域経済のあり方、幸せとは?などを考えました。またレポート報告では、佐久総合医療センターでの「いきいきの森」、全厚労での病院給食直営の取り組みなどを学び合いました。

また集会の全体まとめに立った秋田の鈴木土身さんは、医療研31回のうち、30回に参加、運営委員として、そして15回目から事務局長として関わってきたこと、「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。



秋田の鈴木さん(左)と自分史を語った埼玉の大久保さん。実は誕生日が同じいい夫婦の日(集会にはもう一人いました)

大戸診療所は、国立療養所「長寿園」が国の政策に

より廃止方針が出される中で、地域住民、全医労、医労協(当時)などの廃止反対運動の末、廃止そのものは免れなかったものの、地域住民・労働組合員らが新たな医療施設を作ろうと立ち上がり、出資金の約半分5千万以上を住民が出資して立ち上げた日本初の「住民立の診療所」です。

シンポジウムでは、全医労時代の廃止反対闘争から、病院事務局長を経験してきた今野義雄常務理事を始め、看護師長を務めた篠原恵さん、運転手の浦野さん、リハビリの宮崎さん、栄養士の高橋さん5人が、それぞれの立場・経験から、大戸診療所の理念や取り組みを話していただきました(詳細は次号で紹介いたします)。

最終日は各分科会のまとめを行い、全体集会で各分科会の内容が報告されました。第2分科会の報告に立った大久保さんは、自らが病気になるって病院にお世話になる中で、これまで「不良」の生き方をしていた自分にも役に立っていることではないかと、看護師の道を選んだことや集会に参加して「仲間」に支えられていると感じたことが話され、参加者の涙を誘いました。

また集会の全体まとめに立った秋田の鈴木土身さんは、医療研31回のうち、30回に参加、運営委員として、そして15回目から事務局長として関わってきたこと、「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

「自分も医療研に救われた一人」として、「医療研運動」の大切さを語られました。

12月2日公示／14日投票

解散・総選挙の争点は何？

安倍首相は、11月21日国会を解散し、12月2日公示、14日投票で総選挙を行うことを決めました。多くの国民がこの総選挙の「大義」について疑問を持っています。

「議会制民主主義の基礎である税制に重大な変更を行う以上、国民に信を問うのは民主主義の王道だ」と主張しますが、安倍政権は、秘密保護法や解釈改憲など、公約にないことや公約を裏切つて、「暴走」を続け、国民の欲していないことを推し進めてきました。今回の選挙は、2年間の「安倍政治」そのものを問う選挙です。



安倍首相は、11月21日国会を解散し、12月2日公示、14日投票で総選挙を行うことを決めました。

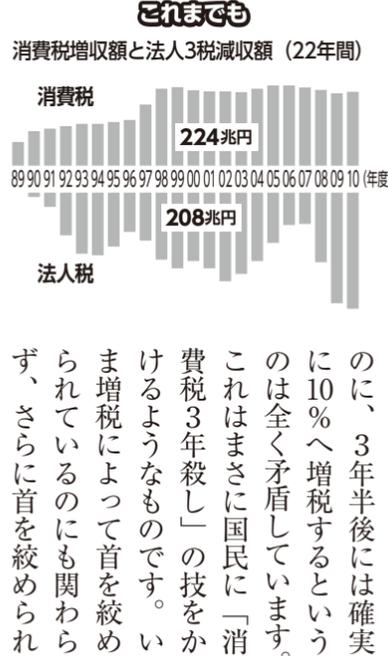
かつてのナチスドイツでは、選挙でナチス党は一度も国民の過半数の支持は得られていませんでしたが、国民の無関心により、相対多数を押しえながら独裁へと走ってきました。国民一人ひとりの一票で、政治の暴走にストップをかける選挙です。

争点 集団的自衛権、秘密保護法認めるか？

安倍首相は、前回の公約にはない「秘密保護法」も反対する多くの国民世論を無視して、強行してきました。「解釈改憲による集団的自衛権の行使」も公約は「国家安全保障基本法」の制定、「税」だけが国民生活に関わることではありません。

「戦争する国」に進むのか、憲法を守りいかして、

争点 3年後に確実に消費税増税？ それとも中止へ



「景気回復のために、増税を延期する」と言いながら、「景気条項」をなくし、日本経済がどういふ状況かも分からないのに、3年半後には確実に10%増税するというのは全く矛盾しています。これはまさに国民に「消費税3年殺し」の技をかけるようなものです。いま増税によって首を絞められているのにも関わらず、さらに首を絞められるのを知らず、

争点 民主主義と言いつつ、新基地建設の声を聞かず

11月16日の沖縄県知事選挙では、辺野古基地建設ノー、普天間基地即時撤去・返還など沖縄「建白書」の立場でたたかいた翁長新知事が誕生しました。これも「県外移設」だった前仲井真知事と自民党地元国会議員が公約を違えて、公約を守ろうとする自民党市議を除名するなど、アメとムチで

今度は窒息してしまおうでしょう。一方で成長戦略のために、法人税減税は先行しようとしています。これまでの消費税増税と法人税減税の総額が、ほぼ同額であることから、庶民からお金を吸い上げ、大企業に回すというのが、消費税増税の正体です。増税延期ではなく、中止こそが必ずやります。

今の辺野古の状況を見ていると、小笠原の赤サングラスは、5隻の巡視船で



翁長氏選 翁長氏「沖縄の誇り」浸透

争点 原発再稼働は？ 脱依存の公約どいつへ

2年前の衆院選・自民党公約では「原子力に依存しなくても良い経済、社会構造の確立を目指す」「最先課題として再生可能エネルギーの最大限の導入を図る」と明記していましたが、実際には「原発は重要なベースロード電源」と規定し、再稼働を推進しています。

11月21日夜も長野県で震度6弱の地震が起こり、

争点 「農協改革」で農協解体？ TPP阻止の公約どいつへ

2年前の公約では、「聖域なき関税撤廃」を前提にする限りTPP交渉参加を表明し、早期妥結を

目指している。また農業の岩盤規制を打ち破るために、「農協改革」も打ち出しています。そもそも自主的な「協同組合」組織を可能に社会作りへの貢献が認められている組織形態です。

「ウソつかない。TPP断固反対。ブレない。」

日本を救え!! 自民党

「ウソつかない。TPP断固反対。ブレない。」とした前回のポスター

争点 アベノミクスで格差拡大、雇用破壊も進む

安倍首相はさかんに「雇用・所得は増えている」と言いますが、アベノミクスの2年間で、雇用は正規が22万人減り、非正規が123万人増え、ワーキングプアは約1120万と2年で30万人近く増加しています。

実質給与指数は、13年7月から15カ月連続でマイナス、雇業者報酬(実質)が62・3兆円から61・8兆円に約4千億円以上減るなかで、資本金10億円以上の企業の経常

2012年7~9月	2014年7~9月	増減
3327万人	3305万人	↓22万人
1829万人	1952万人	↑123万人
35.5%	37.1%	↑1.6ポイント
62兆2827億円	61兆8507億円	↓4320億円
78兆9303億円	76兆8117億円	↓2兆1186億円
1090万人	1119万9千人	↑29万9千人
26.0%	30.4%	↑4.4ポイント
7兆160億円	11兆856億円	↑4兆696億円
263万7千人	272万8千人	↑9万1千人

※貯蓄なし世帯は6~7月調査、ワーキングプアは12年と13年、経常利益は4~6月期、富裕層は13年と14年の数字

14秋・厚生労働省交渉

看護・介護職等の処遇改善へ支援求める

全厚労は11月11日、中執など20名が参加し、14秋闘での厚生労働省交渉を行いました。

今回の主要項目に沿って交渉内容を紹介します。

1 厚生連の財政措置について

厚生省は「公的医療機関に関わらず、産科などの医療機関などに財政支援していきたい」と答える一方、財政状況がかなり厳しいとして、医療介護総合法に基づき「機能分化と連携、在宅医療の充実に向け、地域包括ケア病棟を導入」「医療資源の少ない地域に配慮した評価の影響を調査し中医協で



へき地医療や厚生連の実状を訴えた

アップについては、これまで通りの地域医療支援機構で行っているとの回答に止まり、「へき地の医師確保の困難さは認識している。看護師については見直しに対し95%と、需給に供給が追いついていない。へき地での不足は認識しているが原因分析は不十分」と回答。交渉団は「へき地だけでなく一般の地方都市でも医師の高齢化が進み医師が来ない、徳島県内の医師の人口比は高いが勤務医がいな

い、勤務医の過重労働に対する対策を欲しい」と訴えました。厚生省は「診療報酬での手当は考えていない。雇用環境は管理者自ら考えて勤務環境改善に取り組むよう、好事例を紹介している。また院内保育への支援等、活用して欲しい」「平成20年度からの医師養成の地域枠の卒業生がようやく出始めているところで、地域枠の拡大も進めている」と答えました。交渉団は「調査を行うとあつたが労働組合での調査は出ている。次の対策への段階へ進んで欲しい。またななしの状況だ」「看護師がほ

ぼ足りているというのとは間違った認識。有休も取れず、離職は毎年10万人出ている」と速やかな対応を求めました。また腰痛問題については「新たな腰痛予防指針を関係機関に周知し、パンフレットを作成、昨年は社会福祉施設へ、今年は保健衛生業を重点に各都道府県で1回、無料の講習会を行っている。助成は介護従事者の身体的負担軽減に資するものに3百万円の2分の1助成を年間10億の予算つけている」と回答しました。交渉団からは機器助成が介護に留まっているが、看護師の約9割が腰痛持ちになっている調査結果や、腰を痛めやすい労働環境にあることなどを示し、医療分野での

4 介護職の処遇改善、確保問題

ノーリフト普及へ、対策と財政措置の必要性を訴えました。また「特定行為」を進めることについても、あくまでも慎重に行うことを求めました。

厚生省は「2025年で250万人の介護職員が必要と推計。介護職の流出に危機感を持っており、イメージアップ、キャリアアップ、雇用環境改善の3本柱で対策を進める。福祉人材専門委員会を作り、検討中」、賃金については「福祉人材確保指針に、国の福祉職俸給表を参考にして欲しい」としているが、賃金は個々の労働関係によるもので、強制はできない。自治体で俸給表を示しているところもあり、そこには基金等で支援していきたい」「現在、福祉人材確保緊急支援事業を行っており、県で考えてもらい使えるようにしている」と回答しました。

2 人材確保の問題について
医師の派遣システムやキャリアアップ

3 「通知」に基づく処遇改善の課題
厚生省は「県毎に医療勤務環境改善支援センターを作り、アドバ

厚生省は「個々の病院において勤務条件の改善を見込んで調査したい」としながら、「調査方法もこれから検討」とはつきりしませんでした。

交渉団は介護職の平均賃金21万円と一般の労働者の平均賃金の差が10万近くになることを示しながら、「21万円では結婚できない、家も建てられない、子どもも持てない。5万円上げれば経済効果もある」という専門家もいる。賃上げできる環境を「イメージアップ」と言うが、イメージは悪い方で固定化されている。そこを払拭できるような労働条件改善が必要だ」と訴え、また南相馬での問題として、「介護職には、遠くからも来てもらっているが、被災地を助けようという思いだけで来てもらっている現実短期間で辞めている実態。現場の介護士も疲弊し、特別な対応してもらわないとどうしようもない」と訴えました。



政府が財源をどうするか？ 民間企業を圧迫するな!!

最後に「消費税も回して、医療・介護が充実するよう頑張ってください」と訴え、交渉を終えました。

「国民主導の政治」への転換も必要

茨厚労 安本 真理子

全厚労厚生労働省交渉に初めて参加してきました。事前に打ち合わせをして臨んだこともあり、厳しい医療現場の実態や、消費税増税、診療報酬改定の影響など、具体的に訴えることが出来ましたが、それに対する回答は「今後調査する」など、要請に応えるような具体案が示されなかったのは残念でした。事前に文書回答を得て交渉に臨むことで、より具体的な話し合いにつながるのではないのでしょうか。

それでも、三厚労で取組んだ腰痛アンケート結果から腰痛要望対策への具体的提案、看護師需給見通しの95%を達成しているとの認識に対し、夜勤の出来る看護師は減り離職がすすんでいる現状を踏まえた上で「第8次看護師需給見通し」策定に臨むよう再要請しました。切実な訴えや提案をすることで、より具体的な政策を引き出すことにつながるのではないかと思います。民主党政権では「脱官僚主導」と謳われていたのですが、短期間に政権が次々と変わり、国民のくらしやいのちをないがしろにする政治が推し進められる中では、安心して任せられないのが現状です。今回、働きつづけられる職場づくりには、政治が大きく影響すると実感した厚生労働省交渉でした。

「国民主導の政治」とするためにも、毎年取組んでいる夜勤実態調査や夜勤改善・増員を求める署名は、現場の声を国に対して訴える大きな力となると思います。また国民の声をしっかり政治に活かすためにも、急遽入った総選挙ではありますが「誰に入れても同じ」と諦めるのではなく、政策を実行させるのも私たちの責任と捉え投票したいと思っています。

国は安定的な医療・介護体制に責任を

山厚労 久保 崇彦

厚生労働省交渉には初めて参加しました。団塊世代が後期高齢者となる2025年には日本が今まで経験したことのないほどの要医療者、要介護者の増加が予想されるため、その医療や介護を支える看護職員、介護職員などの増員は最重点課題です。国は処遇改善策を長期的に考え、安定的な医療・介護体制を整えることが必要だと思います。

今年は診療報酬の改定年でしたが、消費税増税の影響で多くの厚生連が赤字となっています。増税分は社会保障費に充てられるはずでしたが、その財源がきちんと診療報酬や補助金に充てられておらず、特に地方の病院には行き届いていないのが現状です。地方における医師不足の現状と在宅復帰率など診療報酬改定の矛盾点を指摘し、厚生労働省としての見解を聞きました。

反省点としては要求項目が多すぎたために予定の2時間で全項目の交渉が十分に出来なかったことでした。ある程度、要点を絞り戦略的に行う必要があると思います。私個人としても質問の仕方が抽象的であったことが反省点でした。具体的な回答を得るには具体的な質問が必要です。交渉後の反省会でも現場の生の声や具体的な数字を示すべきとの意見が挙がりました。

この度は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。今後も組合員活動を通じて訴えていければと思います。

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第91回は福島と神奈川にお願いしました。



福島 二瓶 研朗さん

福厚労で書記長しております二瓶研朗です。4月より組合専従として働いております。福島県は東日本大震災・原発事故がありました。もう4年も経つというのに未だ復興の兆しすら見えてこないのが現状です。我が福島県厚生連におきましても双葉厚生病院が原発事故のあおりを受け休院状態が続いています。勤務していた職員も別の病院へ移って仕事をされている方、退職された方々も沢山おります。私一人の力ではどうすることも出来ませんが、組合員みんなの力を合わせ少しでも前進出来るような活動をしていきたいと思っています。その他、職員の働きやすく、長く仕事を続けていけるような職場環境作りへの活動に対しても一生懸命臨んで行くつもりです。

プライベートでは、始めて日は浅いですがゴルフに少しはまっています。青空の中を切り裂くショットを打てるように、練習しなくちゃなってしまうのですが…

労働組合に関して、まだまだ勉強不足なところもありますが、若い人達にも興味を持ってもらえる組合にしていけるよう頑張りたいと思います。

伊勢原協同病院の手術室に勤務する肥田立(たつ)さんです。職種は看護師。いつも革ジャンを着けていますが、大型のオートバイに乗っているからです。スポーツマンタイプと思いきや、ものすごく読書好きです。口数は少ないですが、あまり物事に動じない性格で、腹が据わっていると評価が高く、労働組合の中では信頼されています。8月に移転した新病院でも仕事に組合活動にといろいろ活躍してくれるのではないのでしょうか。



神奈川 肥田 立さん

読者の声

今年になってから母の体調が悪く、仕事と介護で疲れ気味です。せつかくのお休みも実家通いで女子会も欠席してクサクサしていましたが、同僚に誘われて組合の定期大会に1泊2日で参加させて頂きました。他支部との交流、特に情報交換して楽しかったです。(秋田)

りがたいことです。(OH) 病院統合をめぐっての記事を読み、徳島県ではJA徳島厚生連阿南共栄病院と阿南医師会中央病院が合併することになり、2交替を行っている病院との統合において労働条件の違いからの大変さをとても感じました。(徳島)

湖東厚生病院の再開に伴い、職員が各転勤先から戻ってきました。懐かしい顔・顔に皆が笑顔になりました。これから地域の皆様へ恩返しのため、一人ひとりが自覚を持って取り組んでおります。(秋田)

3年半前と変わらない被災地を読んで、今ではテレビ等で放送されるのは少なくなってきたものの汚染水や放射線量の問題が残っているのだなと思ひ、早く改善され住みよい場所になりますようにと祈るばかりです。(徳島)

ザククロスワード

出題●モロゾミ勝

1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	

- ヨコのカギ
- 1 そりを引く動物
 - 4 スピード。目にも留まらぬ……で走行
 - 7 騒動。応仁の……
 - 8 買わなければ当たりません
 - 10 冬至に食べます
 - 12 ……を逐(お)う者は山を見ず
 - 13 真心。誠心……
 - 14 髪の毛をとかす道具
 - 16 天井の……を払う
 - 18 赤と白があります
 - 20 紙に包んで捨てましょう
 - 22 挿絵。……マップ
 - 24 ……イブ。……ツリー
 - 26 ……ある鷹は爪を隠す
 - 28 ……、雷、火事、親父
 - 29 犬みそかに食べる……そば

- タテのカギ
- 1 フーテンの……
 - 2 分かりにくい。……な文章
 - 3 最後つべにご注意
 - 4 ……八分に医者いらす
 - 5 ……如来
 - 6 ちようどいい……
 - 9 うどんや五目飯の具
 - 11 ……レコーダー
 - 13 赤穂義士が眠っている
 - 15 陰暦の12月
 - 17 ……に襲われる
 - 19 板を曲線状に切れます
 - 21 利息が付きません
 - 23 最後。……シーン
 - 25 おとぎ話の一……法師
 - 27 馬に念仏、……に経文

当選者(読者の声掲載者含む)10名様に図書カードを差し上げます。答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。(9月号の答え:コンパス)